

郡上農林事務所の普及活動状況 [2月]

今月の重点活動

■夏秋トマト 「郡上トマトの学校」卒業生・研修生意見交換会を開催

郡上トマトの学校は2月12日 J Aめぐみの郡上営農経済センターにおいて、「就農後の状況報告と研修生に向けた助言」と題してトマトの学校卒業生と研修生の意見交換会を開催した。

4名の卒業生からは、就農後の苦労話なども交えながら、就農後のトマト栽培を行うための要点について助言があった。

天井ビニールの設置を一人で行う場合の工夫、作業の段取り、秋季の収量確保を意識した作業の優先順位、薬剤防除の必要性など現場を踏まえた助言は研修生にとって大変参考となり、就農後の作業を意識できる内容となった。

農業普及課は今回の意見交換会の企画提案を行ったが、トマトの学校の研修内容の充実を図るため、今後とも様々な提案や調整を行っていく。



【意見交換の様子】

新たなブランドづくり

■郡上花き園芸組合 フランネルフラワー・ファンシーマリエ栽培管理支援

フランネルフラワー・ファンシーマリエについて郡上地域に適した栽培体系の確立を図るための試作が行われており、気温の上昇とともに出荷が少しずつ近づいている。

農業普及課では、1か月に3回の間隔で、草丈、芽数などの生育状況や肥料の養分吸収量を調査し、追肥の時期や肥料の選択について支援している。また、生育状況からみた、厳寒期のかん水適量についても情報提供している。

生産者からは「試作を実施して、植え替え時のポットの大きさ、厳寒期での管理の仕方などのヒントがあった。次作に活かしていきたい」との前向きな話を聞くことができた。

今後とも、農業普及課では地域に適した管理について調査を行い、情報提供を行っていく。



【フランネルフラワー
生育状況の様子】

多様な担い手づくり

■たかす園芸生産協議会 スキー場との連携で労働力確保

たかす園芸生産協議会は、農業者の労働力不足解消を目指した雇用就農者募集活動の一環として、2月25日郡上市高鷲町内のスキー場でポスターの貼付やチラシ配布を行った。

スキー場には冬季間のみ県外から高鷲地域に来て働く期間労働者が多くいるが、春になると別の観光地などに移動してしまうという現状がある。そこで、高鷲地域の農業が盛んであることを紹介し、春以降も引き続き郡上市内の農業の現場で働くようPRを行った。

スキー場担当者も「1年中高鷲地域にいてくれれば、来季のスキー場の雇用確保にもつながる」と今回の取り組みに期待を寄せている。

たかす園芸生産協議会では、今後とも農家の労働力確保に向けた活動を続けていく予定としており、農業普及課も引き続き支援を行っていく。



【掲示されたポスター】